

## 国際観光学部が求める教員像と教員組織の編成方針

### 【国際観光学部が求める教員像】

#### 1. 能力

- ① 常に研究と修養に努めることで国際観光学に関わる自らの分野・領域における専門性の向上を図り、その成果を教育者として学生に教授することのできる能力
- ② 学生と信頼関係を構築し、一人一人の能力を伸ばすことのできる能力
- ③ 国際観光学部の一員として、組織的な行動を行なえる能力
- ④ 教育を通じて学生のキャリア形成を支援し、進路についての助言ができる能力

#### 2. 姿勢

- ① 阪南大学の建学の精神、ミッションステートメントを理解し、学生一人一人の能力を最大限伸ばすよう努力する姿勢
- ② 国際観光学部の三つの方針を理解し、これを前提とした特色ある教育の実現に努める姿勢
- ③ FD活動に積極的に参加し、自らの教育能力の向上に努める姿勢
- ④ 国際観光学に関わる自らの専門分野・専門領域において真摯に学術研究に努める姿勢
- ⑤ コンプライアンスを徹底するとともに、あらゆる差別やハラスメントを許さない姿勢

### 【教員組織の編成方針】

国際観光学部の教員組織編成の基本方針は次のとおりとする。

- ① 観光文化・観光計画・観光事業の3つの教育研究領域について、バランス良く教員を配置する。
- ② 学部に学部長・副学部長ならびに教育・学生・入試の3つの部会をおき、組織マネジメントおよび教学マネジメントにあたる。
- ③ 公平性・透明性を確保するとともに教育・研究・学務・社会貢献のいずれにも配慮した教員人事を行う。

以上